

令和2年度 会報

埼玉県連合教育研究会

令和2年10月9日
埼玉県連合教育研究会
責任者 田中民雄

事務局 〒330-0804
さいたま市大宮区堀の内町1-99
さいたま市立大宮東中学校内
印刷 関東図書株式会社



埼玉県連合教育研究会
会長 田中民雄

会員の皆様には、日ごろ埼玉県連合教育研究会の諸事業にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、昨年度末からの新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、分散登校、オンライン学習、そして学校再開と「新しい生活様式」による学校生活に日々苦慮されていることと思います。本研究会におきましても、評議員会（総会）の議案審議や各種会議を紙ベースや電子メール等で行うなど、これまで以上に創意工夫に努めながら、各研究団体との連携を図っていただけるよう事業の企画及び運営を行っております。

各研究団体におかれましても、新型コロナウイルス感染症の第二波の感染拡大が油断を許さない中、新たな研究活動の在り方を模索する日々が続きますが、どうか、このような時にこそ、会員の皆様の叡智を結集して乗り切ってほしいと願っています。

昨年度、本研究会では、活動方針作成委員により、本年度の「活動方針」の3本目の方針を見直し、「持続可能な社会の創り手となる人財の育成」と文言を改めました。持続可能な社会とは、「地球環境や自然環境が適切に保全され、将来の世代が必要とするものを損なうことなく、現在の世代の要求を満たすような開発が行われている社会」と言われています。

これは、2015年9月の国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）に基づいた全世界規模の目標でもあります。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策と経済発展、そして新たな学校生活様式の中でのコロナ禍対策と学びのバランスを見極めながら、この機を逃さず、持続可能な社会の創り手として子どもたちの育成のための視点での研究へのご尽力もよろしくお願いいたします。

【SDGs = 「Sustainable Development Goals」】

令和2年度 活動方針と重点・努力点

<活動方針>

- 1 未来を切り拓く教育の創造を目指して、着実な教育研究活動を継続し、埼玉県公立小・中・特別支援学校・義務教育学校等の教育の充実と発展に努める。
- 2 学習指導要領と埼玉県及びさいたま市等の教育行政施策を踏まえて、各教育研究団体の特性を生かし、真摯に教育研究活動を推進し、「教育立県・埼玉」の実現に努める。
- 3 郷土埼玉を愛し、持続可能な社会の創り手となる人財の育成を目指して、質の高い教育研究活動を推進し、その実現に努める。

<重点・努力点>

- 1 確かな学力の育成のため、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教育研究活動を一層推進する。
- 2 豊かな心と健やかな体を育成し、たくましく生きる力を育む教育研究活動を一層推進する。
- 3 キャリアステージに応じた教員の資質・能力等の向上を図るため、組織的・継続的な教育研究活動を一層推進する。

本研究会では、本年度も各研究団体や会員の皆様の研究活動が、このような状況下においても、粛々と推進できますよう、ホームページにて情報提供をさせていただいておりますので、ご活用ください。

結びに、本研究会のために、埼玉県教育委員会及びさいたま市教育委員会並びに日本教育公務員弘済会埼玉支部の皆様には、ご指導、ご支援をいただき心より御礼申し上げ、あいさついたします。



ホームページ
QRコード

目次

・会長あいさつ、活動方針と重点・努力点……	1	・教科等研究団体等の研究主題・研究内容……	5
・令和2年度役員・評議員等名簿……	2	・地域教育研究団体の取組……	9
・組織・運営図……	3	・事務局だより・研究論文入賞者研究論文の概要…	13
・会費・負担金等の流れ……	4	・令和3年度研究論文募集要領……	16

令和2年度 埼玉県連合教育研究会 役員・評議員等

1. 本部役員等

Table with columns: 役職, 氏名, 所属, 役職, 氏名, 所属. Lists members of the main committee including the President (田中 民雄), Vice President (高後 仁), and various department heads.

2. 教科等研究団体

Table with columns: No, 研究団体名, 会長名, 所属. Lists 19 research groups such as '埼玉県国語教育研究会' and '埼玉県書写教育研究会'.

3. 地域教育研究団体

Large table with columns: 旧事務所, No, 研究団体名, 会長名, 所属. Lists regional research groups across various municipalities like '埼玉県教育学部附属小学校' and '東松山市教育研究会'.

<令和2年度 学校数 1,229校 会員数 30,436名>

※1 越生班教育研究会【越生町・毛呂山町】
※2 小川班教育研究会【小川町・東秩父村】
※3 菅谷班教育研究会【滑川町・嵐山町】
※4 玉川班教育研究会【鳩山町・ときがわ町】
※5 秩父教育研究会【秩父市・横瀬町・小鹿野町・皆野町・長瀬町】
※6 児玉郡本庄市教育研究会【本庄市・上里町・美里町・神川町】

埼玉県連合教育研究会 組織・運営図



No.	教科等研究団体19
1	国語
2	書写
3	社会科
4	算数数学
5	理科
6	音楽
7	美術
8	保健体育
9	英語
10	道徳
11	特別活動
12	進路指導・キャリア教育
13	学校視聴覚
14	教育心理・教育相談
15	特別支援
16	学校図書館
17	中学校技術・家庭科
18	小学校家庭科
19	生活科・総合的な学習の時間

正副会長会 6名
 ・会長 1名
 ・副会長 5名

常任理事・理事会 21名
 ・会長 1名
 ・副会長 5名
 ・常任理事 10名<地域教育研究団体>
 ・理事 5名<教科等研究団体>

評議員会 (総会) 86名
 ・会長 1名
 ・副会長 5名
 ・監事 3名
 ・常任理事10名 (内兼評議員7名)
 ・理事 5名 (兼評議員)
 ・評議員 教科等団体長19名
 地域団体長 55名

活動方針作成委員 8名
 ・会長 1名 ・副会長 2名
 ・常任理事 3名 ・理事 2名

会員【本年度 30,436名】
 ・公立小・中学校、特別支援学校、義務教育学校
 ・埼玉大学教育学部附属小・中学校
 ・埼玉大学教育学部附属特別支援学校
 ・希望する私立中学校・特別支援学校等
 ・校長 ・副校長 ・教頭
 ・主幹教諭 ・教諭 ・養護教諭

事務局長等研究協議会

事務局 4名
 ・事務局長
 ・幹事
 ・会報発行
 ・研究集録発行
 ・研究論文募集
 審査・表彰
 ・講演会

配分金
 旅費配当

会費負担金
 講演会補助
 論文応募表彰

助成：埼玉県・さいたま市・教育公務員弘済会

地域教育研究団体55 ※=複数市町村で構成

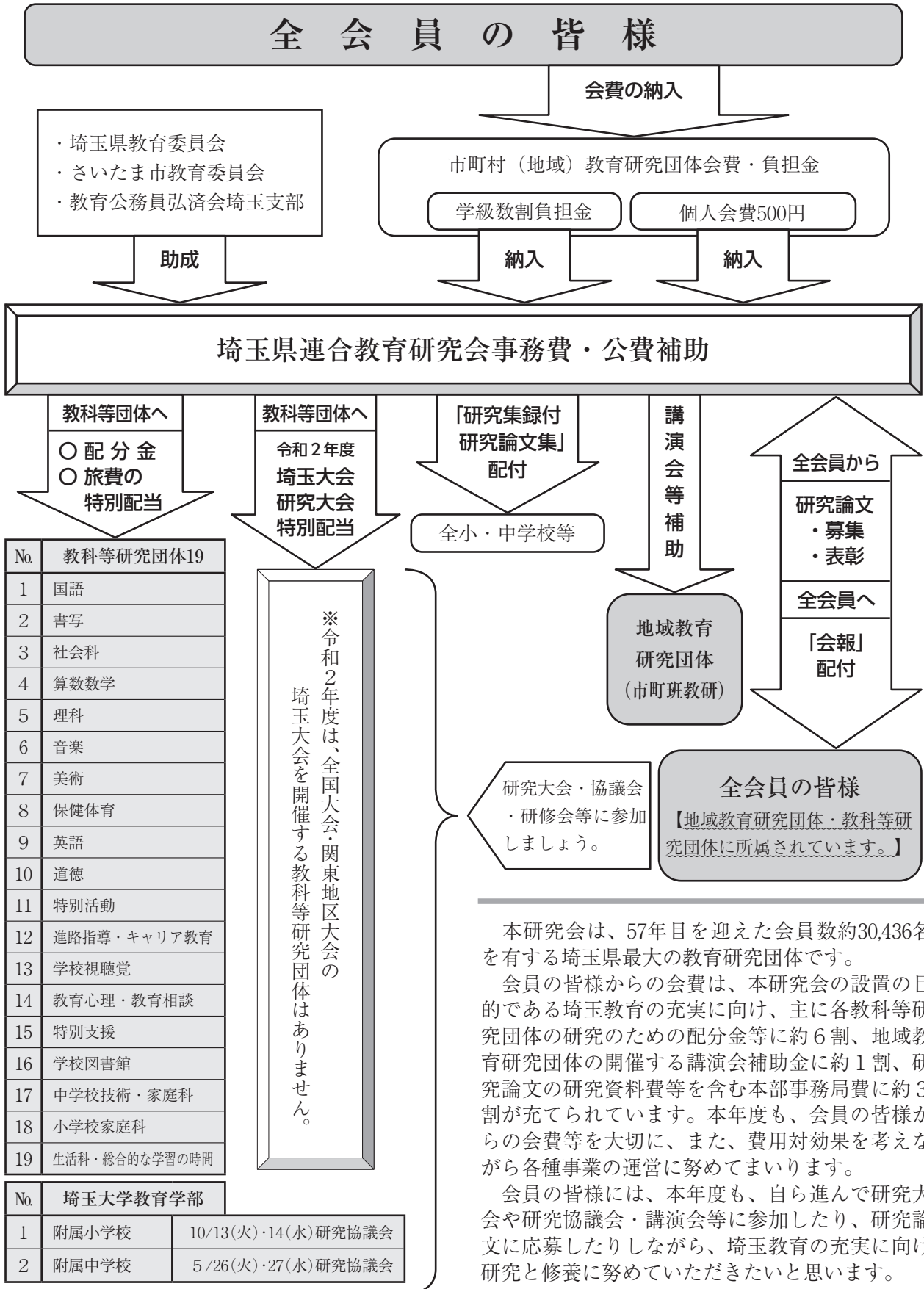
1	埼玉大附属小	30	東松山市
2	埼玉大附属中	31	小川班※
3	さいたま市	32	菅谷班※
4	川口市	33	玉川班※
5	草加市	34	川島
6	蕨市	35	吉見
7	戸田市	36	秩父※
8	志木市	37	児玉郡本庄市※
9	朝霞市	38	熊谷市
10	新座市	39	深谷市
11	和光市	40	寄居町
12	埼玉大附属特別支援	41	行田市
13	鴻巣市	42	加須市
14	北本市	43	羽生市
15	上尾市	44	春日部市
16	桶川市	45	越谷市
17	伊奈町	46	久喜市
18	川越市	47	三郷市
19	所沢市	48	蓮田市
20	飯能市	49	幸手市
21	日高市	50	八潮市
22	狭山市	51	杉戸町
23	入間市	52	吉川市
24	富士見市	53	松伏町
25	ふじみ野市	54	白岡市
26	坂戸市	55	宮代町
27	鶴ヶ島市	—	入間地区連合
28	越生班※	—	埼玉連合
29	三芳町		

教科等研究団体の全国・関東地区教育研究大会の開催予定 (令和2年7月8日現在)

	全国大会 (埼玉大会)		関東地区大会 (埼玉大会)	
	小学校	中学校	小学校	中学校
令和2年度				
令和3年度	算数数学、特別活動	算数数学、特別活動	算数数学、学校視聴覚、小・家庭科	算数数学、学校視聴覚、道徳
令和4年度			道徳	
令和5年度			美術、学校図書館	国語、社会科、美術、学校図書館
令和6年度	英語	英語	英語、生活・総合	英語、進路・キャリア
令和7年度			音楽	音楽

埼玉県連合教育研究会の各事業は、会員【30,436名】の皆様の会費及び補助金等により運営されています

【会費・負担金等の流れ】



本研究会は、57年目を迎えた会員数約30,436名を有する埼玉県最大の教育研究団体です。

会員の皆様からの会費は、本研究会の設置の目的である埼玉教育の充実に向け、主に各教科等研究団体の研究のための配分金等に約6割、地域教育研究団体の開催する講演会補助金に約1割、研究論文の研究資料費等を含む本部事務局費に約3割が充てられています。本年度も、会員の皆様からの会費等を大切に、また、費用対効果を考えながら各種事業の運営に努めてまいります。

会員の皆様には、本年度も、自ら進んで研究大会や研究協議会・講演会等に参加したり、研究論文に応募したりしながら、埼玉教育の充実に向け研究と修養に努めていただきたいと思います。

令和2年度

教科等研究団体及び 埼玉大学附属小・中学校の 研究主題・研究内容 《21団体》

1. 国語教育

埼玉県国語教育研究会

1 研究主題

「生活に生きて働く国語の能力の育成をめざす授業の創造」

2 研究内容

学習指導要領の趣旨を生かし、基礎・基本の定着を図るとともに、興味・関心を生かした多様な言語活動を工夫し、児童生徒の学習意欲を高めるための実践的研究を行う。

また、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育むとともに、言語感覚を豊かにするための実践的研究を行う。

2. 書写教育

埼玉県書写教育研究会

1 研究主題

「書字文化を育む書写教育」

2 研究内容

日常に資する技術向上研修と実践的研究を行う。

- (1) 研究発表会・講演会（5月 研究成果の発表）
※今年度は中止。
- (2) 実技研修会（8月 教職員の指導技術向上）
※今年度は中止。
- (3) 授業研究会（11月 授業力向上）
※状況を配慮して実施予定。
- (4) 硬筆展・書きぞめ展の開催（6月・1月）
※硬筆展は中止。書きぞめ展は誌上発表とする。
- (5) 研究集録の発行（3月 研究成果の誌上発表）

3. 社会科教育

埼玉県社会科教育研究会

1 研究主題

(小)「社会がわかり、社会にかかわる子どもを育てる社会科学習」

(中)「よりよい社会の創り手を育てる社会科学習」

2 研究内容

- (1) 会誌によるブロック別授業研究会の指導案等の誌

上発表

- (2) 会誌による研究発表大会の趣旨を踏まえた研究等の誌上発表

過年度までの研究とその成果を広めるために、規模を縮小して上記の行事を実施し、紙面による研究の発信を行っていく。

また、状況をみて令和5年度開催予定の関東ブロック中学校社会科教育研究大会と、令和10年度に開催予定の全国中学校社会科教育研究大会に向けた基礎研究を小・中学校で協働して進めていく。

4. 算数・数学教育

埼玉県算数数学教育研究会

1 研究主題

「学ぶ楽しさを味わう算数数学の学習をめざして」

2 研究内容

学習指導要領の趣旨を踏まえ、教材研究を深め、指導内容の系統を明らかにし、数学的活動を重視した学習指導を展開する。

そのため、児童生徒の学習意欲を喚起し、数理的な処理のよさや数学的な見方・考え方のよさに気付かせ、算数・数学を活用できるよう学習過程や指導の工夫に努め、指導と評価の一体化を図る。

本年度は、新型コロナウイルス対策として、ホームページを通じた授業研究会情報の広報・活用や、過去の研究成果物（学力調査問題等）を各校へ頒布するなどの取組も行う。

5. 理科教育

埼玉県理科教育研究会

1 研究主題

「自然を主体的・科学的に探究する資質・能力の育成」

2 研究内容

児童生徒が理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行い、根拠に基づく結論を導き出す過程を通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するための学習指導の研究及び実践を行う。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度は研究委員会を開催しないこととした。理事研修会等についてはZoomを用いて行い、各支部の理解を深めるとともに、ホームページの充実を図っていく。

また、科学教育振興展覧会が中止となる中、埼玉県小中学生科学コンクールを実施し、児童生徒の探究の芽を成長させる取組を行っていく。

6. 音楽教育

埼玉県音楽教育連盟

1 研究主題

「伝わる音楽」

～音楽を共有し、感性を豊かにする学びを通して～

2 研究内容

- (1) 音楽科における思考力・判断力・表現力を育む指導の充実
- (2) 表現領域と鑑賞領域の関連を図る指導の充実
- (3) 我が国の伝統的な音楽の指導の充実

3 感染症拡大防止に係る取止め等の事業

- (1) 埼玉県小・中学校等音楽会
- (2) 各地区音楽会
- (3) 各地区夏季研修会
- (4) 役員研修会（書面にて代替開催）

7. 図画工作・美術教育

埼玉県美術教育連盟

1 研究主題

「きらめく感性 つくりだす喜び」

～未来をひらく授業づくり 「深い学び」の探求～

2 研究内容

- (1) 受け止めよう 子どもの心
 - ・子どもたち一人一人の心をしっかりと受け止め、励まし、豊かな心を培うこと
 - ・自分の心を見つめ、他者と心を通わせ合うことを大切にすること
- (2) 育てよう 確かな力
 - ・「確かな力」を生きて働く力ととらえ、育てたい力を具体的に明らかにし、学びを深めていくこと
 - ・造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成すること
- (3) 深めよう 生き生き授業
 - ・子どもたちの実態に適した授業、子どもたちが生き生きと活動できる授業を構想すること
 - ・「主体的・対話的で深い学び」という視点も生かしながら、授業づくりのための手立てを豊かにすること

8. 保健体育教育

埼玉県保健体育研究会

1 研究主題

- (小) 「運動の特性や魅力を味わわせ、資質・能力をバランスよく育む授業の工夫」

「健康・安全に関する内容を実践的に理解させる保健教育の工夫」

- (中) 「生徒一人一人を確実に伸ばす保健体育指導の実践」

2 研究内容

(小) 「陸上運動系」「機械運動系」「保健」

(中) 「陸上競技の特性に応じた効果的な学習指導の工夫」

「体づくり運動の特性に応じた効果的な学習指導の工夫」

「健康で安全な生活を営むための実践力を育てる保健教育の工夫」

9. 英語科教育

埼玉県英語教育研究会

1 研究主題

「21世紀を逞しく生き抜く人材の育成を目指した英語教育」

～コミュニケーションを大切にする児童生徒の育成～

2 研究内容

例年開催している教員の資質・能力の育成のための教員研究発表会や、中学生の日頃の学習の成果発表の場としての英語弁論大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。

今後も、引き続き外国語科教員および児童生徒の意識の高揚を図っていききたい。

10. 道徳教育

埼玉県道徳教育研究会

1 研究主題

「人としての生き方について考えを深め、よりよく生きる児童生徒を育てる道徳教育の創造」

～学習指導要領が求める道徳教育の実践を通して～

2 研究内容

- (1) 8月 「夏季研修会」

教材吟味と指導案作成により、授業実践、指導方法の改善について協議を行う。

また、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の 飯塚 秀彦 氏の講演会を実施し理論と実践の研究を深める。(中止)

- (2) 11月 「埼玉県道徳教育研究大会・吉見大会」

吉見町立吉見中学校を会場に授業研究会を行う。

また、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の 浅見 哲也 氏の講演会を実施し、授業実践と理論の両面から研鑽を深める。(誌上发表に変更)

11. 特別活動

埼玉県特別活動研究会

1 研究主題

「よさや可能性を発揮し合い、確かな資質・能力を育む特別活動」

2 研究内容

- (1) よさや可能性を発揮し合い、確かな資質・能力を育むための指導計画の研究
- (2) よさや可能性を発揮し合い、確かな資質・能力を育むための指導と評価の方法の研究

3 感染防止への取組計画

- (1) 専門委員研究協議会（回数を減らして実施）
- (2) 会場の収容人数の倍の会場を確保、及び参加者・不参加者の事前把握による参加者連絡先名簿作成

12. 進路指導・キャリア教育

埼玉県進路指導・キャリア教育研究会

1 研究主題

「未来を見据え、主体的に生き抜く力を育てるキャリア教育の推進」
～小中一貫を円滑に進めるための協働的な取組を通して～

2 研究の内容

コロナ禍にあり、60年間伝統的に継続している25地区進路指導・キャリア教育研究協議会を今年度は中止とした（※さいたま市のみ実施）。

研究の方向性を「キャリア・パスポートの展開」「小中におけるキャリア教育の推進」にシフトし、小中共により機能的なキャリア教育を展開するため、具体的な指導事例を中心とした研究紀要の作成を進めている。

年度末には県内全小中学校等へ配付し、各校での有効活用を目指している。

13. 学校視聴覚教育

埼玉県学校視聴覚教育連絡協議会

《埼玉県学校視聴覚教育連盟》

1 研究主題

「心豊かに、自ら学び、主体的に活動する力を育む教育メディアの活用をめざして」
～楽しく学ぶ、進んで学ぶ、互いに学ぶ～

2 研究内容

教育メディアを積極的に活用することで、プログラミング教育などを研究・実践する。

その中で児童生徒が「自ら学ぶ力」と「主体的に問題を解決する力」を身に付け、生きる力を付けることをねらいとする。

《埼玉県放送教育研究会》

1 研究主題

「だれもが考える力を育み 世界観をひろげる埼玉の放送教育」～ひろがる つながる 深まる～

2 研究内容

日々の授業や研究活動を充実させ、放送活用を推進し、リモート会議、本の出版等を通して授業研究など

の成果を広く発表していく。

《埼玉県教育機器研究会》

※本年度休会

14. 教育心理・教育相談

埼玉県教育心理・教育相談研究会

1 研究主題

「通常の学級における発達障害児童生徒等の指導支援」～社会性を育むスキル教育の実践と定着～

2 研究内容

- (1) 通常の学級等において、発達障害を有する児童生徒をどう理解し、指導支援していくか、先行事例に学び、研究を深め、実践事例等を広める。
- (2) 社会性を育むスキル教育の実践と定着を図るため、各地区の事例や情報に基づいた研究を進める。
- (3) 定例の理事会・専門委員会において、教育心理・教育相談の課題等について研究協議を行う。

15. 特別支援教育

埼玉県特別支援教育研究会

1 研究主題

「幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえ、自立と社会参加につながる指導・支援の充実を求めて」

2 研究内容

- (1) 幼児児童生徒一人一人の障害の状態及び発達の段階や特性等に応じた効果的な指導の在り方を追究する。
- (2) 発達障害のある幼児児童生徒をはじめ、学習や生活に特別な支援を必要とする子に対する指導の在り方を追究する。
- (3) 全特連全国大会埼玉大会の成果等を踏まえ、新しい時代の特別支援教育の諸課題に応じた教育について研究し、本県特別支援教育の実践を進展させる。
※次年度に向けて、今年度からWebによる会議等も取り入れ、現代の働き方の中での合理的な研究会の在り方を創造する。

16. 学校図書館教育

埼玉県学校図書館協議会

1 研究主題

「豊かな心と確かな学びを育む学校図書館の創造」～主体的・対話的で、深い学びを支える学校図書館教育～

2 研究内容

- (1) 研究
学習指導要領の趣旨に基づき、学校図書館に関する管理運営・利用指導・読書指導・地域連携を中心に、学校・家庭・地域（公立図書館等・図書ボランティア等）との連携を図り、学校の教育課程の展開に寄与する学校図書館を目指し研究を推進する。

(2) 事業

- ・集会 理事会（第1回は紙面）、学校図書館研究大会（中止）、表彰式（中止）
- ・協議 研究部会、研究協議会（1月のレポート提出をもって代える）
- ・研究 学校図書館授業研究会（小学校予定）
- ・表彰 読感文・読感画コンクール審査、賞状の伝達をもって表彰とする
- ・刊行 埼玉SLA会報89・90号、感想文・感想画集「真珠」
- ・広報 夏休み・冬休みの推薦図書案内
- ・参加 全国学校図書館研究大会高松大会（中止）

(3) 調査

埼玉県学校図書館協議会沿革史CD-ROM化
（組織・総会資料・真珠。研究紀要等）

17. 技術・家庭科教育

埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会

1 研究主題

「未来社会を切り拓くための資質・能力を育成する学習指導の研究」

2 研究内容

一昨年度から新学習指導要領の移行期間となった。本研究会では、昨年度の研究から新学習指導要領の実施に向けて実践研究を行ってきた。

今年度も、継続して同じ研究主題に取り組みつつ、適切な評価が行えるよう実践を積み重ね、教科として育成すべき資質・能力を効率よく育成できる指導方法について研究を進めていく。

今年度は、新型コロナウイルスの感染症拡大により各学校にて研究を進め、オンラインツール等を活用して情報共有に努めていく。

18. 小学校家庭科教育

埼玉県小学校家庭科教育研究会

1 研究主題

「豊かな心と実践力を育み、未来を拓く家庭科教育」
～家庭生活への関心を高め、人と関わりながら、
よりよい生活を創り出す児童の育成～

2 研究内容

- (1) 川口市立戸塚南小学校における「第51回埼玉県小学校家庭科教育研究協議会」の開催（誌上发表）
- (2) 研究集録の編集と発行
- (3) 会報40号の編集と発行
- (4) 第37回関東甲信越地区小学校家庭科教育研究会埼玉大会に向けての授業検討・アンケート調査等

19. 生活科・総合的な学習の時間教育

埼玉県生活科・総合的な学習の時間教育研究会

1 研究主題

「思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫」

2 研究内容

生活科における思考力・判断力・表現力、総合的な学習の時間における思考力・判断力・表現力について、考え方を整理する。具体的な実践例を基に、思考力・判断力・表現力の現れについて考察するとともに、児童生徒が変容したきっかけについて分析をし、教師の適切な支援についても整理したい。

生活科、総合的な学習の時間の授業場면을類型化して、それぞれの場面で求められる思考力・判断力・表現力やその評価についても整理し、思考力・判断力・表現力を高めるための指導方法について研究を進める。

20. 埼玉大学教育学部附属小学校

埼玉大学教育学部附属小学校

1 研究主題

「学びをつくる」（1年次）
～主体的に取り組む姿が見える学びのデザイン～

2 研究内容

- 第88回小学校教育研究協議会
令和2年10月13日(火)、14日(水)にオンラインでの開催を予定している。研究の1年次として、各教科、健康教育の授業公開、提案を行う。
- 校内授業研究会
個人の研究主題を基に、学校及び教科の研究主題を踏まえ、授業を通して理論の検証を試み、全員で研究協議（質疑・グループ協議等）を行う。

21. 埼玉大学教育学部附属中学校

埼玉大学教育学部附属中学校

1 研究主題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善による資質・能力の育成

2 研究内容

副題を「～対話的な学びを通して思考力、判断力、表現力等をのばす～」とし、「授業を通して生徒の『思考力、判断力、表現力等』を育成できたことが分かる工夫」と「対話が必要となる状況を作り出す『問い』の工夫」を研究の手立てとして、実践研究を行った。

3 新型コロナウイルス感染症拡大防止への取組

休校期間中におけるオンライン授業、授業動画の「YouTube」への限定公開配信等を行った。
また、「メール相談室」を開設し、学習内容等の質問対応を行った。

令和2年度

地域教育研究団体の 取組 《16団体／55団体》

1. さいたま市教育研究会

会長 高 後 仁

本市研究会は、小学校105校、中学校60校、特別支援学校3校、中等教育学校1校の169校 5,505名の会員が21の専門部に所属している。

1 本研究会の目的

本会は、市内各学校の教育指導の充実、教職員の資質の向上に寄与し、本市教育の振興に期することを目的としている。

2 主な事業

- (1) 運営委員研究協議会 年4回
- (2) 評議員研修会及び研究協議会 5月20日(水)
書類送付及び文書採決にて実施
- (3) 専門部長研究協議会 年3回
- (4) 全体研修会(教育講演会) ※中止
- (5) 研修大会 11月19日(休)
全専門部が、各学校などを会場に授業研究会や講演会等を実施し、研修を行っている。
今年度は、以下の例を参考に各専門部で工夫して行うこととした。
例) 少人数で授業研究会を行い、後日成果を共有
例) 少人数で講演会を記録し、後日共有
- (6) 会員名簿、研究紀要、パンフレットの発行

3 重点・努力点

各専門部における充実した運営を通し、課題の解決を目指した実践的な研究・研修等を一層推進する。

2. 草加市教育研究会

会長 笠 井 誠 司

本研究会は、小学校21校、中学校11校に在籍する教職員1,010名の会員によって構成されている。

1 本研究会の目的

本会は教職員相互の職務の向上と親睦を図り草加市教育の振興を期することを目的とする。

2 主な事業

重点目標

「幼保小中の一貫した教育を通して、指導力の向上を図る」

令和2年度は、

- (1) 合同主任会を書面とメールにて行い部長の決定を行った。

- (2) 運営委員会、評議員会、部長会についてはメールで資料等の配付を行い、Web会議を行った。
- (3) 総会は書面上で行い、学校毎に投票し事務局で集計し承認した。
また、
- (4) 研究発表会、教育講演会については場所の確保ができないため中止の方向である。
- (5) 各教科等部会の活動については、
 - ①連絡協議会 ②授業研究会 ③実技研修会等はWeb会議を有効的に活用する。
 - ④発明創意くふう展 ⑤児童生徒科学展覧会
 - ⑥小中学校音楽祭 ⑦児童生徒作品展覧会は中止とした。

必要最低限の出張は確保しながら、メールでの連絡、資料配付とWeb会議を基本に取り組んでいく。

草加市独自の今後の活動については、社会の新型コロナウイルス感染拡大防止対策と考え合わせながら決定していく方針である。

3. 新座市教育連合会

会長 坂 口 智

本研究会は、新座市内小学校17校、中学校6校に在籍する663名の教職員で組織され、22の教科等の主任研修会で構成されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、教育研究の振興を図り、会員の資質・指導力の向上を目指し、授業研究等を中心に取り組み、教育の充実に貢献することを目的とする。

教科等に関する国・県・市の指針等の動向を把握するとともに、学校教育の充実に図る。

2 本年度の主な事業

新型コロナウイルス対応により、例年実施していた内容を精査し、安全確保のうえ実施する。

(1) 各教科等主任研修会

1学期の主任研修会については集合することなく、全小中学校に配置されたタブレットを使ったオンライン会議により開催。

◎ 実施予定

主任研修会、授業研究会、実技研修会、調査研究活動、調査冊子発行

▽ 今年度中止

臨地研修会、ブロック別研修会(中学校区単位)、小中教員研修会、新座市教育委員会共催教育講演会

(2) 主任会等の活動

◎ 実施予定

書きぞめ展

▽ 今年度中止

硬筆展覧会、児童生徒作品展、小中音楽会、水泳記録会、陸上大会、特別支援学級合同発表会

(3) 研究紀要「教育研究新座」の発行

1年間の主任研修会の活動記録、研究協力員報告

4. 伊奈町教育研究会

会長 鈴木 香織

本会は、伊奈町立小学校4校及び中学校3校、県立伊奈学園中学校、私立国際学園中学校の計9校の教職員263名、20の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本会は会員の主体的研究によって、教育全般の振興を図るとともに、会員相互の理解を深め、資質の向上をめざし、伊奈町生涯学習社会の構築、教育・文化の向上発展に貢献することを目的とする。

2 今年度の活動について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年1回の評議員会は開催せず、書面での議案承認とし、各部会とも可能な限り活動を自粛すること、会費徴収は行わないことなどが決められた。

ただし、児童生徒作品展費や各校の特別活動費の予算計上と最低限必要な部会の活動等は認められている。

3 主な事業

- (1) 学校保健（養護教諭）部会による新型コロナウイルス感染予防対策を含めた取組
 - ・児童生徒の登下校や授業形態に対応した予防対策
 - ・予防のための職員の留意事項と具体策
 - ・健康診断の実施時期と実施に際しての留意点

- (2) 伊奈町小中学生科学コンクール

- ・作品募集と入賞作品決定
- ・授賞式の取りやめ

4 今年度中止が決定している主な事業（7月現在）

桶川伊奈中学校英語弁論暗唱大会、伊奈地区硬筆展覧会、各研究部会における授業研究会及び実践報告会、「研究集録」発行等

5. 飯能市教育研究会

会長 小澤 暁

1 本研究会の目的

本研究会は、飯能市小学校12校、中学校9校の正会員405名、賛助会員で構成され、26研究部会で組織されており、教職員が主体となり、職能の向上と教育の振興を図ることを目的とする。

2 主な事業

(1) 本部事業

- ① 理事会 年3回
- ② 評議員会 年2回
- ③ 部長会 年2回
- ④ 合同主任会 年2回
- ⑤ 研究発表会 4校は来年度へ移行
- ⑥ 研究紀要 年1回

(2) 各研究部（26研究部会）

主任研修会は、必要な部会のみ行う。
書写展覧会は審査会にする。等

6. 日高市教育研究会

会長 半田 貞晴

本会は、日高市内の小学校6校、中学校6校に在籍する教職員285名で組織され、27の教科領域等の研究部で構成されている。

テーマは「しなやかに たくましく 未来を拓く日高っ子」である。

1 本研究会の目的

本会は、日高市の公立小中学校職員が主体となって、職能の向上と教育の振興発展を図る。

2 令和2年度の主な事業

- (1) 一斉主任研修会 4月10日(金) 延期
⇒6月2日(火)に実施
終了後、部長会計会議を実施
- (2) 理事研修会（年5回予定）評議員会（年2回）
⇒4月と5月の理事研修会は、紙面で実施
- (3) 総会 5月8日(金)
⇒7月3日(金)～6日(月)に紙面決裁
- (4) その他
 - ・会報の発行（年2回）
 - ・各所で小中一貫教育カリキュラムの追加・修正
 - ・可能な場合は、各所で授業研究会を実施
 - ・研究発表会（3校）⇒公開はせず、各校で実施

7. 越生班教育研究会

会長 小堺 広司

本会は、越生町と毛呂山町にある小学校6校、中学校3校に在籍する194名の教職員を会員として、29の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本会は、越生班学校教育の振興を図ることを目的とする。

2 主な事業

- (1) 教育上の調査・研究
- (2) 学習指導の研究及び研究協議会の開催
- (3) 講演会・講習会の開催
- (4) 学習奨励のための諸事業
- (5) 各種教育団体との連絡調整
 - ① 会議
 - ・理事部長研究協議会 5月7日(木) 川角小学校
 - ・総会・理事部長会 各学校で紙面により開催
 - ② 各研究部の活動
 - ・主任研修会
 - ・授業研究会
 - ・各展覧会

8. 玉川班教育研究会

会長 野口 千津子

本研究会は、比企郡ときがわ町内の小学校3校及び中学校2校並びに鳩山町内の小学校3校及び中学校1

校の合計9校の教職員125名の会員で構成される研究団体である。

1 本研究会の目的

本研究会は、教育の振興と会員の資質の向上につとめ、併せて相互の親睦を図ることを目的とする。

2 主な事業

- (1) 新旧理事研究協議会 5月
- (2) 理事研究協議会 9月、1月、3月
- (3) 全員研究協議会・教育講演会
※今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (4) 玉川班音楽祭
※今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (5) 児童生徒理科研究発表会
- (6) 各研究部会の活動
○授業研究会 ○研修会 ○硬筆展
○科学展 ○美術展 ○書きぞめ展等

9. 川島教育研究会

会長 藤田由美子

本研究会は、川島町内の小学校4校、中学校2校の会員数114名、29の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、教育の振興と会員の資質の向上に努め、併せて相互の親睦を図ることを目的とする。

2 主な事業

- (1) 教科等主任研修会 4月9日(木)
※新型コロナウイルス感染症防止のため中止とし、電話やメール等で連絡調整
- (2) 第59回 総会 5月13日(水)
常任理事会において縮小して実施
- (3) 各研究部の活動
 - ① 授業研究会
 - ② 主任研修会
 - ③ 児童生徒研究発表会
 - ④ 特別支援学級交流学習会・合同遠足
 - ⑤ 教育相談スタッフ等合同研修会
 - ⑥ その他、本研究会の目的達成に必要な活動
- (4) 研究集録の作成
各研究部の一年間の活動概要、成果及び課題をまとめ、研究集録の発刊

10. 秩父教育研究会

会長 吉岡章

本研究会は、秩父郡市内の小学校23校、中学校12校で、会員数631名、28の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本会は、本会教職員の資質の向上を図り、地域教育の振興に寄与することを目的とする。

2 令和2年度の主な事業

(1) 理事研修会

第1回 4月14日(火) 中止

※各理事に研修会資料を配付し、各校・各研究部で協議

第2回 7月10日(金) 中止

※教育講演会中止のため

第3回 令和3年2月4日(木)

(2) 総会 (中止)

5月8日(金)

※各学校に総会資料を配付し書面による決議を行う。

(3) 各研究部の活動

9月～各研究部による研修会・研究会を実施予定

(4) 教育講演会 (中止)

8月5日(水) 小鹿野文化センター

講師：坂本 達 氏

(サラリーマン冒険家 ミキハウス社員)

11. 児玉郡本庄市教育研究会

会長 石川優子

本研究会は、本庄市、上里町、美里町、神川町の小学校24校、中学校8校に在籍する教職員714名で組織され、30の教科領域等の研究会で構成されている。

1 本研究会の目的

本会は、児玉郡本庄市内における教育研究会の活動を通して、児玉郡本庄市の小・中学校の教育振興を図ることを目的としている。

2 令和2年度の主な事業

(1) 新旧本部役員研修会

(4月10日→中止／4月23日→新役員のみ実施)

(2) 組織づくり (4月14日／4月15日)

→実施を要する一部の部会について、研究会会員または、役員のみで各研究会会長校で実施。

(3) 理事研修会及び総会 (5月14日) →紙面決議

(4) 部長会議→中止。今年度の事業計画の見直し。

(5) 本部役員研修会 (12月／1月)

(6) 各研究会の活動

①授業研究会 ②美術展 ③科学展 等を運営

(7) 研究集録の作成

12. 熊谷市教育研究会

会長 秋元敏行

本研究会は、熊谷市内の小学校29校、中学校16校に在籍する教職員1,036名で組織され、33の教科領域等の研究会で構成されている。

1 本研究会の目的

本会は、「熊谷教育」の発展のため、「知・徳・体のバランスの取れた学力日本一」を目指し、その土台となる「熊谷の子どもたちは、これができます!『4つの実践』と『3減運動』と『スマホ使い方宣言』」を基盤として、教育研究活動の充実・改善を図ることを

目的としている。

2 令和2年度の主な事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3密を避けるよう各部会の工夫による研修会の開催、また、リモートによる研修会など多様な形で研究を進める。

- (1) 分散主任研修会 5月21日(休)・22日(金)
- (2) 令和2年度総会 6月19日(金)
- (3) 会報28号・29号発行 11月中旬・2月上旬
- (4) 研究集録の発行 3月上旬
- (5) 年間指導計画(小:見直し・中:作成)
- (6) 各展覧会・コンクール

13. 加須市教育研究会

会長 鶴 飼 道 男

本研究会は、加須市内の小学校22校、中学校8校の教職員663名を会員とし、30の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、幼・小・中学校の学校教育の振興を図るとともに、相互の連携を密にし、職能の向上を図ることを目的としている。

2 主な事業

- (1) 会員の研修のための講演会、講習会
- (2) 発表会、研修会、視察調査等
- (3) 幼児、児童生徒の発表会、展覧会、協議会等
- (4) 会員や幼・小・中学校の研究助成
- (5) 各種教育関係団体、機関との連携・提携

3 事業内容

- (1) 全員協議会 5月(書面)
- (2) 教育講演会 7月(中止)
- (3) 研究発表会(委嘱校)誌上発表または来年度へ
- (4) 陸上競技大会、硬筆展、科学展、音楽会、美術展、書きぞめ展(通年)※本年度は一部中止
- (5) 教育研修大会 2月

14. 春日部市教育研究会

会長 橋 本 葉 子

本研究会は、小学校22校、中学校11校、義務教育学校1校、会員915名で組織されている。

1 本研究会の目的

本会は、春日部市小・中・義務教育学校職員相互の連絡・連携を密にして、会員の資質の向上と人間性豊かな児童生徒の育成を目指すとともに、市の教育振興を図ることを目的とする。

2 本年度の主な事業

- (1) 定期総会及び教育講演会【中止】
※総会議案は、誌上によって決議を行った。
- (2) 各研究部の活動(29部会)
主任研修会
(研究協議会・授業研究会・実技研修会)
主な主催事業
① 書きぞめ展

② 特別支援学級ふれあいアート展

※他事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。

(3) 研究会報の作成

15. 八潮市教育研究会

会長 飯 山 美 夕 貴

本研究会は、八潮市内の小学校10校、中学校5校の会員数389名、28の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本会は、小中一貫教育を基盤として、教職員の資質の向上と人間性豊かな児童生徒の育成に努め、市教育の振興を図ることを目的とする。

2 主な事業

- (1) 教科等主任研究協議会(分散開催) 4月
- (2) 役員研究協議会 4月・7月・2月
- (3) 総会・研究協議会(書面表決で実施)
- (4) 感染症対策を講じて実施
① 科学コンクール(レポート審査) ② 書きぞめ展
③ なかよし作品展(特別支援学級)
④ 小中学校養護部会研究協議会
- (5) 感染症対策のため中止
・小学校陸上競技大会 ・中学校英語弁論大会
・発明創意くふう展 ・小中学校合同音楽会
・なかよし学習発表会(特別支援学級)
・市内科学展 ・各研究部授業研究会
- (6) 会計監査 3月

16. 宮代町教育研究会

会長 山 口 隆 夫

本研究会は、小学校4校、中学校3校の教職員155名の会員、31部会で組織されている。

1 本研究会の目的

本会は、宮代町教職員の資質及び学校教育の向上を図ることを目的とする。

2 令和2年度の主な事業

- コロナウイルス対応のため多くの事業が中止・延期
- (1) 令和2年度 研究テーマ
「主体性・多様性・創造性を育み、未来につながる学びの展開」
 - (2) 総会、研修会
5月 定期総会 <中止> ※議事承認書の提出
講演会 <中止>
8月 人権教育研修会 宮代町教育委員会と共催
 - (3) 研究協議会
5月 食育・学校給食部研究協議会
内容 コロナ禍における給食指導について
6月 音楽部研究協議会
内容 コロナ禍における音楽指導について
3月 会報「清流」発行

事務局だより

令和2年度本部事業計画

令和2年

- 4月1日(水) 各教育研究団体の役員名簿提出依頼
- 5月13日(水) 令和元年度本部会計監査会
- 6月17日(水) 第1回正副会長・理事研究協議会
評議員会(総会)・全体研究協議会
令和元年度教育研究論文入賞者表彰式
記念講演会
講師 埼玉大学教育学部附属教育実践
総合センター教授 櫻井 康博 氏
※【中止】
- 7月8日(水) 教科等研究団体事務局長等研究協議会
※【中止】
- 7月14日(火) 『会報(第73号)』原稿執筆依頼
- 9月4日(金) 研究論文応募締め切り
- 10月9日(金) 『会報(第73号)』発行・会員へ配付
- 12月11日(金) 編集委員会
- 12月15日(火) 『研究集録付研究論文集』原稿執筆依頼

令和3年

- 1月26日(火) 「活動方針と重点・努力点」検討依頼
～2月3日(水) (担当副会長・常任理事・理事)
- 2月17日(水) 第2回正副会長会
- 2月25日(水) 教育研究団体活動報告書提出
(日本教育公務員弘済会埼玉支部)
- 3月3日(水) 教科等教育研究団体会計監査会
4日(木) 教科等教育研究団体会計監査会
5日(金) 教科等教育研究団体会計監査会
- 3月18日(水) 『研究集録付研究論文集』発行・配付
- 3月26日(金) 教育研究団体活動報告書提出
(埼玉県教育委員会)

令和2年度全国・関東地区教育研究大会後援

- ◆ 全国教育研究発表大会後援 (0団体)
- ◆ 関東地区教育研究発表大会後援 (0団体)
本年度は、全国・関東地区研究発表大会埼玉大会
該当教科等研究団体はありませんでした。

令和3年度全国・関東地区教育研究大会後援予定

- ◆ 全国教育研究発表大会後援 (2団体)
・埼玉県算数数学教育研究会
・埼玉県特別活動研究会
- ◆ 関東地区教育研究発表大会後援 (3団体)
・埼玉県道德教育研究会(中学校)
・埼玉県学校視聴覚教育連絡協議会
・埼玉県小学校家庭科教育研究会

『研究集録付研究論文集』原稿執筆研究団体

本会は、毎年3月に、『研究集録付研究論文集』を発行し、県内全小・中・特別支援学校等へ配付しています。原稿執筆については、教科等研究団体及び地域教育研究団体並びに研究論文入賞者等に原稿執筆のご協力をいただいています。教科等研究団体には毎年、地域教育研究団体には4年に1度執筆をお願いしています。なお、旧教育事務所の秩父地区、児玉地区、大里地区、北埼玉地区には、市町村の合併により、変則的に原稿の執筆を依頼しています。令和2年度は、下記の14地域教育研究団体に原稿執筆をお願いいたします。会員の皆様には、所属の研究団体はもちろんです。他の研究団体の研究および活動内容等についても是非、ご覧いただき、各研究団体の今後の事業の充実を図っていただければと思います。

【本会ホームページでもご覧いただけます。】

被表彰

令和2年度「身体障害者福祉のための第62回埼玉県児童生徒美術展覧会」において、埼玉県連合教育研究会会長賞を、次の児童生徒さんが受賞されました。

おめでとうございます。

- 東松山市立高坂小学校 第2学年
おかの そうすけ
岡野 蒼右 さん
作品名 『みどりがいっぱいあるミニトマトの森』
- 所沢市立向陽中学校 第3学年
すずき はるや
鈴木 陽矢 さん
作品名 『見つめる自分』

- ①川口市教育研究会
- ②志木市教育研究会
- ③桶川市教育研究会
- ④所沢市教育研究会
- ⑤富士見市教育研究会
- ⑥ふじみ野市教育研究会
- ⑦東松山市教育研究会
- ⑧秩父教育研究会
- ⑨児玉郡本庄市教育研究会
- ⑩寄居町教育研究会
- ⑪羽生市教育研究会
- ⑫加須市教育研究会
- ⑬吉川市教育研究会
- ⑭松伏町教育研究会

※12月中旬に原稿執筆依頼文を発送します。

令和元年度研究論文入賞者 研究論文の概要

● 研究主題

『社会的な「見方・考え方」を働かせた資質・能力の育成の可視化
～単元 地理的分野「地域の在り方」、歴史的分野「現代の日本と世界」の開発と実践を通して～』
埼玉大学教育学部附属小学校 教諭 内藤 圭太



1 研究の概要

本研究は、①生徒が「見方・考え方」を働かせている場面の可視化、②「見方・考え方」を働かせた資質・能力の育成の評価、について、新学習指導要領における「考察・構想」を伴った単元を開発し、実践することを通して検討することを目的とした。

研究仮説を「社会に見られる課題の解決について「考察・構想」することを目標とし、生徒がこれまでの学習を振り返り、自ら問いを立て、解決に向けて「見方・考え方」の視点を活用できるように指導することで、資質・能力を評価できるであろう」とした。

実践は、地理的分野「地域の在り方」（8時間）においては、単元を貫く学習問題を「附属中学区の地域的特色について説明する資料集を作成しよう!」と設定した。生徒は、生徒の生活体験や諸資料に基づき、地域の在り

方や将来の予測を考察・構想した。

歴史的分野「現代の日本と世界」（4時間）においては、単元を貫く学習問題を「私たちが生きている今を、どのように後世に残すことができるだろうか?」と設定した。現代社会に見られる諸課題について、歴史の中から類似の事例を追究し、解決策の構想を行った。評価はパフォーマンス評価によって行った。

2 研究の成果と課題

本研究の成果は、生徒が自ら問いを立て、考察・構想を行う際に「見方・考え方」が働いている場面を可視化させ、その成果物に資質・能力が育成された状態が現れることが検証できた点である。

課題は、育成された資質・能力に対して、より適切な評価を実現すること、「真正の学び」にするための課題提示の工夫など、更なる授業改善に取り組むことである。

● 研究主題

『思いっきり体を動かし、全力で運動に挑戦する児童の育成
～特別支援学級における主体的・対話的で深い学びのある教科別の指導「体育」の授業の実践～』
熊谷市立熊谷西小学校 教諭 堀部 慧



1 研究の概要

障害のある、なしに関わらず、多くの児童にとって、友達と関わりをもちながら体を動かし、汗をかいて活動をすることのできる「体育」の授業は、好きな教科を聞き取った際、常に上位に位置する教科である。本校の特別支援学級の児童へのアンケートでは、「体育の授業が好き」と答えた児童が22人中、16人となった。反面、「授業で何をしたらいいのか分からない」「楽しくない」といった感想をもっている児童もいる。

本研究は、単元計画やルール、教具を工夫した授業を実践し、特別な支援を要する児童でも全力で運動をし、運動の楽しさを十分に味わうことができるようにすることを目的とした。検証授業は「トーマスになって遠くの駅まで走ろう!」（ベースボール型ゲーム）を実践した。

2 研究の成果と課題

○ 児童が主体的に取り組むための手立てを行ったことで、投げる技能が向上し、投力の記録の向上につながった。

○ 児童が対話的に取り組むための手立てを行ったことで、投げることに自信が付くとともに、友達との関わりが良くなり、運動に親しもうとする意欲の向上が見られた。

○ 深い学びのある授業にするための手立てを行ったことで、児童が自分なりの言葉で投げるポイントを理解し、表現することができた。

△ 技能向上に向けて児童にとって魅力のある、効果的な教材・教具の工夫をすること。

以上のことにより、仮説「技能のポイントをしぼり、単元計画やルール、教具を工夫することで、児童一人一人ができる喜びを味わい、技能を向上させることができるだろう。」は検証できたと考える。

令和元年度研究論文入賞者 研究論文の概要

● 研究主題

『学力向上に向けた数学の“新”指導法

～「数学の歌・ダンス」「“数楽”すごろくのスズメ～」

富士見市立本郷中学校 教諭 力久 晃一



1 研究の概要

学習を定着させる基本的な取組として、繰り返し学習する従来の反復学習の他に『インプレッスン(impressive + lesson)』というものに取り組んだ。インプレッスは、あまり興味がないことでも、教え方、学び方のインパクトによって強烈に記憶に残る学習方法である。

具体的なインプレッスンとして①「数学の歌、ダンス」②「生徒と教師のダブル授業」③「数学をすごろくで学習する“数楽”すごろく」を研究し、以下の仮説を立てた。

仮説① 数学の授業に『インプレッスン』を取り入れることで、生徒の学力は向上するだろう。

仮説② 生徒の言葉によるまとめのインタビュー活動を通して、授業の要点を整理しやすくなるだろう。

仮説③ 生徒と教師のダブル授業を行うことで、知識の定着率が上がり、上位層の学力も向上するだろう。

仮説④ すごろくというゲーム的要素を取り入れることで、数学の好きな生徒が増え、学びに向かう姿勢が向上するだろう。

2 研究の成果と課題

2年間の取組の結果、平成30年度の全国学力・学習状況調査の数学A、Bの両分野の全17区分全てにおいて埼玉県と全国の平均点を超えるようになった。

本来、人間は誰しも新しい知識を得たい、学びたいという欲求をもっている。その知的好奇心を刺激し、自ら主体的に学ぶ生徒を育てることが現在求められている。「すごろく学習」などを他の教科にも応用し、数学以外の分野でも生徒が進んで学べるシステムを整えたい。

生徒指導上の問題も激減した。生徒指導の特効薬は、生徒の学力を伸ばすことである。研修の度に言われ続けてきた「教師は授業で勝負」を日々意識して取り組み、これからも、生徒の学力を伸ばすための指導法を研究し、変化する時代に対応できる生徒を育てていきたい。

※ 指導講評

編集委員長 長島 庸夫 【さいたま市立八王子中学校長】

○ 『社会的な「見方・考え方」を働かせた資質・能力の育成の可視化』

研究論文として全体の構成、論文としての体裁が良く整えられ、また先行研究の参照方法など論文をまとめる上での参考となる点が多々ある論文である。

新学習指導要領で示された教科による「見方・考え方」を明らかにして実践するという課題をしっかりと捉えたものとなっている。

一方、授業における構造は従来と大きく変わるところが無い点や、課題追究の場面が主体的で対話的で深い学となること、評価についてパフォーマンス評価の考えを取り入れるなどする、更に先進的な研究となる。力量のある論文であるので更なる研鑽を期待する。

○ 『思いっきり体を動かし、全力で運動に挑戦する児童の育成』

特別支援学級において、児童生徒の興味関心を学習意欲に結び付け、よりよい変容を促す取組を主眼として、

主体的・対話的で深い学びのある教科指導の実践に取り組んだことは大変意義深いものがある。授業構造や活用教材について、従来の実践に準じている点や単一単元・単一教材での研究事例となっている点は惜しまれる。

今後、本実践に先行文献等を踏まえた論理的な裏付けを重ね、更に深まりのある研究論文となるよう継続的な研鑽を願いたい。

○ 『学力向上に向けた数学の“新”指導法』

授業改善への意欲的な取組や、児童生徒の興味関心を高める創意を生かした取組には新鮮さが伺える。また、実践結果としての児童生徒の変容も伺える内容となっている。

更に学習内容を精査し、その学習内容の定着を図る上での学習活動の端緒としての興味関心向上の在り方や、教科の「見方・考え方」を主体的な学習の中で育ていく視点・具体的な手立てを、先行文献や先行実践に学び、具体例を引用しながら研究の論旨が裏付けされるよう、継続的な研究がなされることを期待している。

令和3年度 研究論文募集要領

埼玉県連合教育研究会

研究論文を下記の要領で募集いたします。何とぞ奮ってご応募ください。

記

1 目的

日々の教育実践の中から生まれた研究を会員の皆様から募集し、これを広く発表することによって本県教育の振興に資する。

2 募集内容

教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、外国語活動、進路指導・キャリア教育、視聴覚教育、教育心理・教育相談、特別支援教育、学校図書館教育等の児童生徒に直接かかわる実践的教育研究として、どのように計画し、仮説を立て実践し、さらに、その結果をどのように評価し、今後の教育実践にどう発展させるか等の研究であることとします。

3 応募資格

応募者は、県内の公立小・中・特別支援学校・義務教育学校等に勤務する教員（会員）の個人及びグループの研究（学校としての研究も含む）であることとします。

4 応募規程

原稿の書式は、A4判縦長・横書き、横24字×縦46行×2段組で、パソコン入力（Word）により、4～6枚以内（写真、図表を含む）とし、文体は常体（「である」体）を原則とします。

また、研究論文には「表紙」を付け、その上に「応募票」を添付してください。

「表紙」には、①題名 ②氏名（グループ代表者名） ③職名 ④勤務校を記入してください。

5 応募票

「応募票」は、ホームページの「研究論文応募要領等」からダウンロードしてください。

「応募票」の電子データを希望される方は、下記電話・E-mailにて事務局までお申し出ください。

「応募票」は、「個人研究」・「グループ研究」・「学校研究」別に「表紙」に添付してください。

6 応募上の留意点

研究論文は、誌上未発表のものに限ります。

応募された原稿は、返却しませんので、あらかじめご了承ください。

7 原稿等の提出

令和3年9月10日（金）必着【令和2年度は9月4日（金）に締め切りました。】

「応募票」及び論文原稿等の提出については、事務局へ電子メールでの送信も併せてお願いします。

8 審査結果

審査結果は、令和3年12月中旬に各応募者に書面にて通知します。

9 表彰等

最優秀賞・入選・佳作等に選ばれた研究論文は、令和3年度『研究集録付研究論文集』及びホームページへの掲載を行い、入賞者には、本会評議員会（総会）後の入賞者表彰式にて表彰を行います。

なお、研究資料費として入選論文には7万円（最優秀賞は10万円）、佳作論文には5万円、選外の応募者にも薄謝を進呈します。

また、教職経験10年未満の方を対象に新人奨励賞（3万円）を設けています。

10 審査員

本部役員および編集委員

11 応募先・問い合わせ先

〒330-0804 さいたま市大宮区堀の内町1-99

埼玉県連合教育研究会事務局

さいたま市立大宮東中学校内

TEL 048-641-0808 FAX 048-645-1922

E-mail saitamakenrengoukyouiku@jcom.home.ne.jp

ホームページURL <https://sairinkyou.jp/>

令和元年度研究論文入賞者等

<入 選>

○ 社会的な「見方・考え方」を働かせた資質・能力の育成の可視化

～単元 地理的分野「地域の在り方」、歴史的分野「現代の日本と世界」の開発と実践を通して～

【社会】

埼玉大学教育学部附属中学校 教諭 内藤 圭太

<佳 作>

○ 思いっきり体を動かし、全力で運動に挑戦する児童の育成

～特別支援学級における主体的・対話的で深い学びのある教科別の指導「体育」の授業の実践～

【体育】

熊谷市立熊谷西小学校 教諭 堀部 慧

<新人奨励賞>

○ 学力向上に向けた数学の“新”指導法

～『数学の歌・ダンス』『“数楽”すごろくのススメ』～

【数学】

富士見市立本郷中学校 教諭 力久 晃一